



山梨県立美術館

ニューイヤー・コンサート2018

2018 New Year Concert at Yamanashi Prefectural Museum of Art



平成30年1月14日(日)
開場 13:30/開演 14:00
※整理券配布有り



- 演奏 山梨交響楽団
- 会場 山梨県立美術館 講堂
※入場無料

- 整理券配布
12:30～会場前にて(先着120名様)
※整理券はお1人様1枚とさせていただきます

【曲目・団体名】

◆ベートーヴェン作曲

弦楽四重奏曲第4番ハ短調 op.18-4

《弦楽四重奏》

◆J.F.ファッシュ作曲

2本のオーボエと2本のファゴットのためのソナタ ヘ長調

《ダブルリード四重奏》

◆Pオーロック作曲 カプリオール

モーツァルト作曲 ディベティメント1番

《梨響チェンバーオーケストラ》

◆曲目未定

《Vn.Clデュオ》

※出演団体および曲目は変更になる場合があります。予めご了承ください。

【問い合わせ先】 山梨県立美術館 〒400-0065 甲府市貢川1-4-27

TEL: 055-228-3322 Fax: 055-228-3324

<http://www.art-museum.pref.yamanashi.jp/>



山梨交響楽団

(Yamanashi Symphony Orchestra)

1973(昭和48)年10月に、当時山梨県内で活動していたプリモ室内合奏団が母体となって、山梨県で初のアマチュアオーケストラとして結成された。

団員は約70名、公務員・会社員・自営業・学生・主婦など、さまざまな職業と幅広い年齢層から構成され、毎週金曜日、コラニー文化ホール等にて練習を行っている。

年間の主な演奏活動としては、定期演奏会、ニューイヤーコンサート、県内の小中学校などを巡回する山梨芸術劇場、9月定例県議会に先立つ県議会議場コンサートがある。また、毎年12月開催の山梨県民第九演奏会には、団を挙げて参加している。

これまでに、(故)三鬼日雄、(故)堤俊作、田中一嘉、藤原義章、高橋俊之、桜井優徳、江上孝則、カルロス・シュピーラー、中田延亮、北原幸男、前田淳、クリスティアン・シュルツ、茂木大輔の各氏の指揮のもとで定期演奏会を開催するほか、(故)芥川也寸志、(故)石丸寛、三石精一の各氏をはじめ、日本を代表する指揮者との共演を実現し、全国にも通用するハイレベルなオーケストラを目指すべくその実力を高めてきた。2002(平成14)年10月には、元ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の第一コンサートマスターであるレオン・シュピーラー氏をコンサートマスター兼指揮者に迎えて特別演奏会を開催し好評を博した。また、2007(平成19)年8月には、佐渡裕氏の指揮で富士山河口湖音楽祭「真夏の第九演奏会」に500人の合唱とともに出演した。2011(平成23)年3月に発生した東日本大震災への復興支援活動として、同年7月にチャリティコンサートを実施し、10月には宮城県石巻市へ訪問コンサートを行った。2013(平成25)年11月には「第28回富士の国やまなし国文祭」の「オーケストラの祭典」において、運営面、演奏面で中心的な役割を果たし、成功に大きく貢献した。

公益社団法人日本アマチュアオーケストラ連盟加盟団体の一員として、同連盟主催の「全国アマチュアオーケストラフェスティバル」に積極的に参加しながら、他県のオーケストラとも交流を深めている。2014(平成26)年8月には「第42回全国アマチュアオーケストラフェスティバル甲府大会」を高円宮久子妃殿下のご臨席の下、全国から400人以上の参加者を得て開催し、主管オーケストラとして大会の成功に大きく貢献した。

この他、楽団の弦楽器奏者を中心とした梨響チェンバーオーケストラをはじめ、いくつかの室内楽の演奏グループを団内で結成して、県内行事への参加や、アンサンブルを楽しむとともに、技術の向上につとめている。

団の運営は、団員個々から集める団費と、県内有力企業及び個人の篤志家の皆様からの物心両面の賛助により、文字どおり「県民による県民のためのオーケストラ」として活動を続けている。

1998(平成10)年には、それまでの芸術振興と長年の地道な活動に対して山梨県より、音楽団体としては初の県政功績者表彰を受賞している。



【問い合わせ先】

山梨県立美術館

〒400-0065 甲府市貢川1-4-27

TEL:055-228-3322 FAX:055-228-3324

<http://www.art-museum.pref.yamanashi.jp/>